

# いろいろな遺跡発掘メモ1

## 「遺跡」とはなんでしょう？

皆さんは、「遺跡（いせき）」という言葉を目にしたことはありますか？学校の歴史の授業でも縄文時代の『三内丸山遺跡』や弥生時代の『吉野ヶ里遺跡』は、必ず学ぶと思います。テレビや新聞、雑誌や広告などでも、よく使われている言葉です。

「遺跡」とは、聞いたり口にしただけでも、いざなんだろうと考えてみると、あまり言葉では説明できないようなぼんやりしたイメージになりませんか？今回はそんなぼんやりしたイメージの「遺跡」について、お話ししたいと思います。

ずばり「遺跡」とは、人が活動した痕跡のことを言います。人々がどこでどのような活動をしていたかによって、遺跡の種類や呼び方が変わります。ムラを営んでいたなら集落遺跡、儀式やお祈りをしていたなら祭祀遺跡、お城が建っていたなら城郭遺跡など、いくつかの種類に分けられています。

遺跡の中でも、特に歴史的・学術的価値が高いものを「史跡」と呼び、保護が必要であるとして指定を受けているものを指します。また、「旧跡」というものもありますが、こちらは一部の地方公共団体により指定されている区分となり、重要ではあるけども、原形が著しく損なわれているものや著名な伝説地などのことを指します。似たような名称でもそれぞれ違いがあります。



発掘調査の測量風景（小玉遺跡）



発掘調査のようす（小玉遺跡）



いろいろな遺跡発掘メモ1  
(令和5年5月10日発行)  
教育委員会生涯学習係 担当：福井  
Tel：026-253-6560  
Fax：026-253-6670  
Mail：gakushu@town.iizuna.nagano.jp  
HP：http://www.town.iizuna.nagano.jp/